

今年度第8回目の「授産品バザー」は2011年も残りわずかとなった12月21日（水）に「旧ゆめ広場」にて開催いたしました。当日は雨という予報が出ていて心配しましたが、雨が降ることもなく比較的穏やかな天気にも恵まれました。

いつもの授産品のほかにクリスマスとお正月の飾りつけをしてみましたので、少し華やかな会場になりました。来場された方からもかわいい飾り付けは好評でした。

今回もお菓子、コースター、ポチ袋などで新商品があり、それぞれの障害者施設の方々が、日々工夫を重ね努力をされていると改めて感じられる授産品バザーでした。

この日はボランティアスタッフの人数が少なくぎりぎりの状態での授産品バザーでした。次回は1月18日（水）に授産品バザーを開催する予定です。当日の販売ボランティアとしてご協力していただける方がいらっしゃいましたら、4ページに書いております連絡先までその旨お電話いただくと大変ありがたいです。よろしくお願いします。

この日の販売額は	「旧ゆめ広場」売り上げ：44,500円
	<u>「協力店」売り上げ</u> : 8,390円
	総売り上げ額 : 52,890円

12月6日、毎年恒例のクリスマス会が開催されました。上等なビールや刺身、オードブルが参加者を驚嘆させ、笑いの渦に総勢25名が飲み込まれる大変な盛会でした。

また、前回の「折尾駅周辺の観光サポーター養成講座」で、夜景の折尾駅周辺を回りたいとの要望があったことを受け、12月2日からイルミネーションに飾られている折尾駅舎や堀川運河沿いの飲食街などを見ながら「折尾駅周辺の観光サポート養成講座」を開催しました。駅前広場一杯に飾られたイルミネーション、更に、それらが川面に映り幻想的な景色で、折尾の過去と未来のロマンに浸りました。また、近隣のバーのマスターがドーナツを差し入れしてくれるなど、寒空でしたが心が温まりました。

11月29日（火）午後の部に参加しました。『タウンガイド』を見ながら、折尾駅構内の案内の説明を聞きました。知らない事がいっぱいでした。折尾駅ホームに床屋さんがあった事、昔は蒸気機関車で乗客の顔や鼻の穴が真っ黒になりトイレの前の手洗い場で顔を洗っていた事、鹿児島本線のホームでは立体交差の部分から突然蒸気機関車の煙が出てきて、乗客を驚かせることもあったそうです。

次は、近代化産業遺産に認定された「堀川運河」の切り貫き（ノミで砕く）、くぐり橋、舳石などの説明を聞きながら堀川沿いを歩き、角打ち（酒屋）にも行きました。堀川運河が洪水を起こした時の水の跡が今でも残っており、近隣の住民が洪水に悩まされていたことを知りました。

最近、私は折尾駅でカメラを持った人をよく見かけます。この日にお会いした方は東北から来られた方で、早速、養成講座で知ったことを伝えることができました。また、折尾駅周辺タウンガイドを差し上げると大変喜んでくださいました。

次回の「折尾駅周辺観光サポーター養成講座」にもぜひ参加して、更に知識を増やし、折尾駅や折尾の街のことをもっと多くの方に伝えられるようになりたいと思います。 (O.K)